

持続可能な農業の確立に向けた多角的な取組について きたみらい農業協同組合(北見市)



【組織等の概要】

- 所在地：北見市中ノ島町1丁目1-8
- 構成地区：温根湯・留辺蘂・置戸・訓子府・相内・上常呂・北見・端野
- 正組合戸数：906戸
- 正組合員数：1,599名 ※令和4年1月31日時点
- URL：<https://www.jakitamirai.or.jp/>

【化学農薬削減の取組の経緯と概要】

- 昭和62年から、訓子府地区で、食の安全志向に対するため低農薬たまねぎの推進と商流対策に努めるとして、低農薬栽培を開始。
- JAきたみらいでは、慣行栽培の他に「こだわり栽培品」として、農林水産省特別栽培農産物表示ガイドラインに基づく「特別栽培たまねぎ・ばれいしょ」、北海道クリーン農業に準ずる当組合独自の栽培基準を定めた「ECOみらいたまねぎ・ばれいしょ」の栽培に取り組んでいる。
(取組戸数:たまねぎ80戸、ばれいしょ31戸)

- 化学肥料・農薬の使用削減量
(ECOみらいシリーズ)

	化学肥料 (使用量)	化学合成農薬 (使用回数)
たまねぎ	50%以上	32%以上
ばれいしょ	45%以上	33%以上

【カーボンオフセットの取組】

- JAきたみらいでは、平成25年から、カーボン・オフセットに取り組んでおり、令和4年には、全道の農協として初めて、キキタの森プロジェクト(森林整備)から創出したクレジットを購入。
- 道内の森林づくりを支援するとともに、生産工程における排出量を実質ゼロにした(令和4年取組戸数146戸、取組面積309ha、407t/ -CO₂をオフセット)。



カーボンオフセットの循環図

【GAPへの取組】

- 令和元年から、JAグループが取り組む畑作物GAPに当JA独自のたまねぎの検査項目を追加。
- JAきたみらいGAPへの取組やユーザーの要望に応じ、18戸の生産者がJGAP団体認証を取得(認証品目:たまねぎ)しており、販路の維持・拡大を図っている。



ECOみらいシリーズたまねぎ・ばれいしょ